

## 自己評価報告書(最終報告)

報告者

現代教育課題総合コース/  
谷村 千絵

### ■平成25年度の目標に対する自己点検・評価

#### I. 学長の定める重点目標

##### I-1. 教員養成大学教員としての授業実践

中央教育審議会は、「教職生活の全体を通じた教員の資質能力の総合的な向上方策について」答申したが（平成24年8月28日）、その中で「教員を高度専門職業人として明確に位置付ける」と提言している。この答申の考え方を実現するため、教員養成大学に籍を置く教員として、将来、教師を目指す学生に対してどのような授業実践を展開すればよいか。あなたの取り組みを、①授業内容、②授業方法、③成績評価の三つの観点から示してほしい。

#### 1. 目標・計画

- ①授業内容 教育実践と不可分なテーマとして、子ども、人間、学び、教育、学校、あるいはまた、メディア、防災などの今日的な教育課題のテーマを取り上げる
- ②授業方法 学生の思考を促し、表現力を養うため、そして学校教員の仕事の基本である協働性を養うために、グループワークや発表を多く取り入れる。
- ③成績評価 評価の観点を明示することは必要であるが、評価のための学びとならないような配慮、支援を行う。

#### 2. 点検・評価

- ①授業内容 教育実践と不可分なテーマとして、年間を通して、子ども、教育、学校、そして、防災という今日的な教育課題のテーマを取り上げた。
- ②授業方法 学生の思考を促し、表現力を養うため、そして学校教員の仕事の基本である協働性を養うために、グループワークや発表を多く取り入れた。とりわけ、「教育実践フィールド研究」では、グループ内のコミュニケーションが円滑に行われるよう支援し、学校との連携はもとより、防災訓練実施においては学内外の関係諸機関との連携について、学生が実践的に学べるよう、指導・支援を行った。
- ③成績評価 評価の観点を明示することは必要であるが、評価のための学びとならないよう、プロセス重視の実質的な評価基準として、グループワークのパネルディスカッション発表、読書感想文、小レポートの執筆と発表、個人ポートフォリオレポートを課し、学生に説明した。

学生の授業評価アンケートでは、グループワークについて「教師として考えなければならない問題を深く考えられた」など、高い評価が寄せられた。

## Ⅱ. 分野別

### Ⅱ－1. 教育・学生生活支援

#### 1. 目標・計画

学生のゼミ指導を丁寧に行う。  
学生の進路や生活にかかわる相談には、常に応じる。  
教員採用試験対策の面接指導、小論文指導の要望があればそれに応じて指導する。  
院生室の環境改善(防災、衛生)に務める。

#### 2. 点検・評価

学生のゼミ指導を丁寧に行った。  
学生の進路や生活にかかわる相談には、常に応じた。  
教員採用試験対策の面接指導、小論文指導の要望はとくになかった。  
院生室の環境改善(防災、衛生)に務めた。

なお、学生が大学生活において非日常的な事件に遭遇した際、被害学生のフォローや大学との調整を行った。

### Ⅱ－2. 研究

#### 1. 目標・計画

日米教師教育会議(JUSTEC)で「防災教育の実践」について共同発表する。  
同会議で、「教師の役割における支援」について共同発表する。  
エリクソン研究を進め、論文を投稿する。

#### 2. 点検・評価

6月に日米教師教育会議(JUSTEC)で「防災教育の実践」について共同発表した。  
同会議で、「教師の役割における支援」について共同発表した。  
日本教育大学協会の研究大会でコースの修士論文構想発表会の手法について共同発表を行った。  
昨年の「教育実践フィールド研究」の実践記録をまとめ、学内紀要に投稿した。  
学内有志でレヴィナス読書会を組織し、週に一回の研究会を設けている。  
子どもの発達とフロー体験について、学外研究者とのつながりができ、夏季・冬季特別ゼミを開催して研究会を設けた。次年度にも継続される予定である。

## Ⅱ－3. 大学運営

### 1. 目標・計画

学術研究推進委員の任務を遂行する。  
コース内会計係りを担当する。

### 2. 点検・評価

学術研究推進委員の任務を遂行した。  
コース内会計係りを担当した。  
教員の10年研修で「異文化理解研修」の講師を務めた。研修は好評であった。  
入試業務を遂行した。

## Ⅱ－4. 附属学校・社会との連携, 国際交流等

### 1. 目標・計画

鳴門市立黒崎小学校で防災教育の授業を行う。(教育実践フィールド研究)  
高島地区の防災訓練に学生とともに参加する。(＼)

### 2. 点検・評価

鳴門市立黒崎小学校、黒崎幼稚園、鳴門西小学校、鳴門教育大学で防災教育の授業を行った。(教育実践フィールド研究)  
本学での地域防災訓練において、学生と参加者を増やすための防災イベントとして、スタンプラリーを企画・実施した。  
また、本学防災訓練の日に、鳴門西小学校の小学生160名を大学に招いて、学内の津波避難指定ビル(人文棟)への避難経路案内なし避難リュックのワークショップを行った。(＼)

Ⅲ. 本学への総合的貢献(特記事項)